



【無党派・無所属】大府市議会議員 たかばとくこの活動報告

TOKUKO Report

2017. 春号

発行 鷹羽 登久子 後援会

〒474-0011 大府市横根町羽根山 203-102

TEL 090-4776-5282

メールアドレス teamtokuko@yahoo.co.jp

ホームページ <http://teamtokuko.jimdo.com>

<https://www.facebook.com/TakabaTokuko>

寒い中にも日差しに暖かさを感じるこのごろ、みなさまいかがお過ごしでしょうか？
2016年9月以降のお仕事をピックアップしてレポートします。

12月一般質問

退職する市職員の経験を生かそう！

災害時に臨時職員として活躍してもらうことはできないか？

大規模災害時、市職員は「いくらでも手が欲しい」状況に陥ります。職務の経験を生かし、正規職員でなくても対応可能な業務に責任を持ってあたるパート職員として働いても良い、と考える退職者を募り、予め登録しておく仕組みはできないでしょうか？

【答】限られた職員数で、人員不足により迅速な対応が困難となることも考えられる。いざという時に協力してもらうことについて、経験値を生かして復旧復興活動をより効率的に行うことも考えられるので、制度して活用できないか研究したい。

質問のために作成したパネル→



現場を離れる保育士さんが、再び大府市の保育園でパート保育士さんとして働くきっかけが作れるよう、登録しておいて声がけしては？

保育士不足は全国的な課題です。最近「潜在保育士」という言葉も聞かれるように。大府市では、3年以内の退職者は10年間で19名、うち半数が保育士だったとの答弁。

現在、退職する際に、パートとしてすぐに働ける保育士については登録をしているが、すぐに働けない理由があって退職する場合、年数を置いてパートとして再雇用する登録は行っていないとのこと。

こちらから打診することで、復帰のきっかけがつかめる人もいるのでは。

【答】今、人が欲しいことに追われているが、リスト化して復帰可能な方に後々連絡をすることは可能と考える。意見を参考に担当と協議する。

12月一般質問

災害対策——熊本地震。その時、被災住民はどう過ごしたか
現地視察を踏まえて

住宅地に身近に点在する公園。災害時に果たす役割は？

大府市の地震災害時の指定避難所は各学校と市民体育館になっています。しかし、熊本地震で実際に指定避難所に避難したのは34.1%（熊本市）。指定避難所でないと言われる一方、近隣の公園でご近所で力をあわせて過ごしている姿も報道で目撃しました。これらを踏まえて、大府市では災害時に公園がどのように活用されると考えているのか伺いました。

【答】直後の一時的な避難場所として身の安全を確保するとともに、体育館などの避難所に入らず、外で避難するテント生活の避難場所や、住民に対する炊出し場所としても機能すると考える。

指定避難所以外に、公園で過ごす住民がある可能性を認める答弁となりました。

熊本市では避難所の敷地内やそれ以外で車中泊したのは避難者の約4割。対応はどうする？

防犯上心配だから家のそばで、子ども連れで遠慮して、ハウスタストアレルギーがあって、など、様々な事情で避難所に入れないと判断した人が、車中で数日間の避難生活を送るのは大いにあることです。車で避難しないよう呼びかけているから、と、車中泊を想定しないわけにはいきません。現時点でどのように想定し対応を考えているのか伺いました。

【答】直後の避難場所グラウンドは、人が集まる場所なので、車を入れることはできない。避難所が開設され、避難者がグラウンドからいなくなった時点で、災害対策本部と施設管理者などが協議して、グラウンドの一部を車中泊のスペースとして確保する対応をしたい。避難者登録をし、避難所内で過ごす避難者と同様に物資を提供するが、避難所運営に参加することにもなる。

車で避難しないことが原則ですが、順序や手続きなど考えてあることが確認できました。

熊本地震の被災地で勉強会と現地視察に参加 生活再建につなぐ滞納整理（伊万里市）、エコプラザ（佐賀市）を調査

政務活動費を使わせていただきました。大府市議会では、政務活動費は全て領収証提出、視察調査の場合は、議長に事前申請、事後報告を提出するきまりになっています。提出した報告書の内容は、市議会ホームページに掲載されています。

↓ 10月時点での益城町宮園地区



熊本では、半年経ってまだ倒壊家屋の撤去が進んでいない現場を拝見し、また、国、県と熊本市をはじめ3市1町の担当者や住民から聞き取りができました。現地からの写真レポートは「熊本地震から半年、被災地で聞く、被災地を歩く」と題してまとめました。

<https://togetter.com/li/1042653>

ファシリテーション協会に登録、研修に参加

声を引き出し円滑に進める会議の進行係「ファシリテーター」として会員登録。9月に名古屋、11月に刈谷市で開催された研修に参加しました。（自費参加）

女性、子どもがその時どうだったか？熊本地震から検証

災害に備え向き合うには、弱者から考えるのが大事…12月に東海市で開催された勉強会に参加しました。熊本、愛知の市民団体、医療、保育、情報技術や防災の専門家から、事例報告や専門の視点からの検証・提言をお聞きしました。

熊本地震 鷹羽登久子 で検索すると、詳細レポートをご覧ください。

離婚で離れ離れになった子どもと親の絆づくり。面会交流サポートを学ぶ

10月、半田市にて、親が離別しても交流が途絶えないように、橋渡しをしている市民団体にお話を伺いました。子どもの健やかな成長と親子関係について学びました。

3月議会では、新市長体制で初めての予算が提案されます。

税金を使って1年間で何をどうしていくの？

気になってる課題、どんな提案になってる？住民サービスどうなる？

ぜひお声をお寄せください。

090-4776-5282 またはメールへ

知って欲しい人に情報は届いてる？広報のあり方について

自治体間競争に勝ち残りたい、まちに愛着を持ってもらいたい、だからまちのPRを…ここ数年、全国的にシティプロモーションが積極的に進められてきました。それは大切なことですが、一方で、支援を受けられるはずの人がその手続きを知らなかったから受けられなかった、ということも起こっています。一度あらためて、「行政情報をしっかり伝える」点を振り返り、更に取り組を進めないといけない、と問題提起しました。

引っ越しても住民票を移さないと、どんな問題が起こる？

18歳選挙権で、住民票が実家にあるから今住んでいるところで投票できない？ということが話題になりました。単身赴任なども住民票をそのままにしておくことが多い事例です。また、住民登録の手続きをしないまま転々と移り住むケースもあります。生活に密着した、ないと困るサービスは住民登録がどこにあっても受けられますが、そのサービスの原資は税金であり、他所に税を納めサービスだけ受け取るのも本来ではありません。どんな問題が起こるのか、なぜ住民票をちゃんと移さないといけないのか、議論しました。

住民自治のための指定管理者制度のあり方は？ 論考を寄稿

12月定例会では、今年度いっぱい更新になる指定管理施設の来年度以降の管理者を認定する議案がありました。

とくこは、更新にあたり事業者選考する際に改善が必要、と26年9月に一般質問しており、また今回の議案に対しても自分なりの考え方を整理しました。

それらの考え方を下敷きに論考を寄稿、ヤフーニュースにも取り上げられました。

鷹羽登久子 指定管理者制度 住民自治 で検索してください。

地方自治講座で大学生とディスカッション

10月、中部大学サステナ政策塾にお招きいただき、元衆議院議員・元犬山市長の石田芳弘先生コーディネートのもと、学生さんと「民主主義・地方自治」をテーマにお話しました。パネラーと、ボードに書きながらまとめる2役を務めました。

